



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.10.8 No.4478

矛盾が噴出する「JR体制」打倒へ

恒常的スト体制の強化を

根こそぎで11・10日比谷野音へ!

第一日比谷野音代表者会議を開催し
当面する方針を確立(10月7日)

動労千葉は、一〇月七日、一八時より、第一回支部代表者会議を、動力車会館で開催し、第二三回定期大会で決定された方針に基づき、九六年度新執行体制、一二・一ダイ改阻止に向けた恒常的スト体制の強化、九六年度冬季物販の取組み、総選挙への対応などを確認するとともに、当面、十一・一〇労働者総決起集会へ全支部から根こそぎで決起することを確認した。

十二・一ダイ改阻止へ
恒常的スト体制強化を

十二・一ダイ改に関する問題点として①内房線の一二〇km/h運転、②労務政策に基づく業務の持ちかえ、③一〇年間に及ぶ業務移管攻撃の矛盾の噴出(津田沼への逆業務移管等)、④ダイ改を契機とした要員配の問題、⑤直営店舗廃止に伴う配転問題等々、問題が山積している。とくに、国労・動労千葉破壊を唯一の方針としているJR総連革マルと結託した組織破壊攻撃を許さず、動労千葉の団結を守りぬぐために恒常的ストライキ体制を堅持し、いついかなる時でもストライキにたてる体制をつくり上げ、一二・一ダイ改阻止へ起ち上がる。

また、台風一七号通過後の輸

送混乱時の問題も含めてこの間の千葉支社の列車運行管理能力の崩壊の状態を追及することは、「JR体制」の矛盾をつく決定的に重要な課題になっている。職場で発生する全ての問題を支部・本部に集中しよう。

九六年度冬季物販を全組合員で徹底しよう

九六年度夏季物販の注文件数が物販運動一〇年の歴史の中でも最高を記録した。このことは、動労千葉の闘いがいよいよ全国に広がるものとしていえることである。

今、国鉄闘争が正念場を迎えている状況の中で、国鉄闘争の重要性を訴えて全国のあらゆる職場を訪問することは決定的となつていよう。九六年度冬季物販運動を貫徹しよう。組合員一人二万円の目標を達成しよう。

職場から根こそぎで
十一・一〇日比谷へ!

衆議院解散一〇月二〇日投票、そして新内閣発足という流れの中で、国鉄闘争が一挙に決戦局面へ突入することが予想されることから、今回の十一・一〇全国労働者総決起集会はこれまでになく、まっぴらなしの集会になるものとしていえる。

とくに、今回の総選挙でも明らかのように、労働者の闘いに依拠した政党が全く存在しない中で、労働運動の新たな潮流を求め、これは、前項の物販運動の中でも実証されている。動労千葉が、分割・民営化以降一〇年間闘ってきた中にこそ、労働者として生きる道があることを全国の労働者は実感している。

全支部で、職場集会・オルグを展開し、職場から根こそぎで十一・一〇労働者総決起集会(日比谷野音)に結集しよう!

衆議院議員総選挙への
対応について!

今回の総選挙は、小選挙区制下での初めての選挙であり、連合が資本家政党を推薦するという状況は、労働者の階級性解体という点では極めて重大な攻撃となつている。

千葉においては、動労千葉が所属する千葉労組会議が民主党支持を決定している。しかし、「行革・規制緩和断行」を最大の政策として掲げていることなどから、民主党を支持できる状況にはないと判断した。これは、「行革」の名で強行され、二〇万人の国鉄労働者の首を切った分割・民営化攻撃を見れば、この政策がいかに労働者を犠牲にするものであるかは、あまりに

も明白である。

しかし、千葉労組会議傘下の各組合との友好・共闘関係の維持・強化は重要な課題であり、各支部が所在する地域の状況もあることから、最終的には支部の判断を尊重する。しかし、各支部において推薦候補を決定する場合は、事前に本部との協議を経ることとする。

また、最高裁判事の信任投票については、一五名全員不信任(X)とする。

当面する行動

- ◆一〇・一三三塚現地集會
とき 一〇月二三日(日)
集合 成田駅改札口10時30分
- ◆一〇・二七沖繩千葉集會
とき 一〇月二七日(日)
一三時から
ところ 千葉市民会館小ホール
- ◆第一八回団結運動會
とき 十一月三日(日)
九時開會
組合員・家族揃って参加を!
- ◆十一・一〇全国労働者集會
とき 十一月一〇日(日)
十一時開始予定
ところ 日比谷野音